

教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行状況の点検・評価

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項)

(平成29年度)

平成30年5月

君津市教育委員会

目 次

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

	頁
一 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
二 点検・評価に関する報告の内容について・・・・・・・・	1
1. 教育委員会会議及び教育委員会協議会の開催状況と 審議・協議事項について・・・・・・・・	1
2. 第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの点検・評価結果について・・・・・・・・	1
三 取組状況及び点検・評価結果の概要	
1. 教育委員会会議の開催状況及び審議・協議事項(平成29年度)・・・・・・・・	1
2. 第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び 点検・評価結果(平成29年度)・・・・・・・・	1

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

	頁
一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等・・・・・・・・	5
1. 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・	5
2. 教育委員会会議の審議・報告事項・・・・・・・・	5
(1) 審議内容・・・・・・・・	5
(2) 報告事項・・・・・・・・	7
3. 教育委員会協議会の協議事項等・・・・・・・・	8
二 第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び点検・評価結果・・・・・・・・	9
1. 平成29年度評価基準の概要・・・・・・・・	9
2. 点検及び評価結果・・・・・・・・	10
(1) 思いやりの心を互いに育み、かけがえのない自他の命を 大切にす君津っ子・・・・・・・・	10
(2) 確かな学力を身につけ、自らの人生をたくましく切り拓く君津っ子・・・・	15
(3) 健康的な生活習慣を身につけ、心身共に健やかな体を つくる君津っ子・・・・・・・・	22
(4) ふるさと君津に誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ 活躍する君津っ子・・・・・・・・	25
(5) 君津っ子を支える環境づくり・・・・・・・・	29
評価結果集計・・・・・・・・	35

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

一 点検・評価の目的

効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たす観点から、教育委員会では、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものです。

二 点検・評価に関する報告の内容について

次の2項目の状況について報告します。

1. 教育委員会会議及び教育委員会協議会の開催状況と審議・協議事項について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員による案件の審議や主要事業の協議を行っており、その開催状況と審議・協議事項について報告するものです。

2. 第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの点検・評価結果について

本プランは、平成20～24年度の「第一次きみつ教育 創・奏5か年プラン」同様に、「まちづくりは人づくり」を基本理念とし、君津市総合計画に位置づけられた「豊かな学びと文化が人を育むまち」を目指して、次代を担う「君津っ子」の育成に向け、平成25年度からの5か年を見通した「君津市教育振興基本計画」です。

平成29年度は、第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの最終年度であり、12の宣言、18の取組目標、45の主要事業の完成期にあたる1年といえます。

本プランの点検・評価は、地域やPTAを含めた有識者などを構成員とする「第二次きみつ教育 創・奏5か年プラン評価検討委員会」を設置し、実施状況を調査・分析して、総合的な評価を行っており、その結果をまとめて報告するものです。

三 取組状況及び点検・評価結果の概要

1. 教育委員会会議の開催状況及び審議・協議事項（平成29年度）

平成29年度は教育委員会会議を13回開催し、審議案件55件、報告事項93件について審議しました。

また、協議の必要な事項等については、教育委員会協議会を開催しており、協議案件18件について協議し、事務を執行しました。

2. 第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び点検・評価結果（平成29年度）

第二次きみつ教育 創・奏5か年プランは、第一次プラン同様に5つのビジョンを設けその推進に努めてきました。

平成29年度は本プランの最終年度であり、完成期と捉え、これまでの成果と課題を基盤としながら家庭、地域、学校、そして行政の連携、協働のもと、主要な45事業が順調に推進されたものと考えています。以下は、ビジョンごとの評価結果の概要です。

(1) 思いやりの心を互いに育み、かけがえのない自他の命を大切にする君津っ子

① 家庭・地域・学校の宣言

家庭の宣言として「おはよう」や「ありがとう」を進んで言える子ども達を育てます。地域の宣言として、大人が率先して社会のルールやマナーを守ります。学校の宣言として、思いやりの心を持って、行動できる子どもを育てます。

② 取組目標及び評価

道徳・人権教育の推進、防災・安全教育の充実、いじめ防止及び長欠・不登校児童生徒への対応、交流及び共同学習の推進について、それぞれ指標を定め連携を図りながら推進に努めた結果、一部で目標に至らなかったものの、着実に成果が上がってきているものと考えています。

③ 主要事業の取り組み及び評価

道徳・人権教育推進事業、防災教育推進事業、長期欠席対策支援事業、生徒指導研究協議会事業、交流及び共同学習推進事業の推進に努めた結果、思いやりの心を互いに育み、かけがえのない自他の命を大切にする君津っ子の育成に、一定の成果があったものと考えています。

(2) 「確かな学力」を身に付け、自らの人生をたくましく切り拓く君津っ子

① 家庭・地域・学校の宣言

家庭の宣言としては、生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境をつくります。地域の宣言として、学校の教育活動に積極的に関わり、学校と共に地域の子どもを育てます。学校の宣言として、魅力ある、わかる授業を実践し、確かな学力を身に付けた子どもを育てます。

② 取組目標及び評価

確かな学力の育成、個に応じた支援教育の推進、読書教育の充実、社会性の育成について、それぞれ指標を定め、連携を図りながら推進に努めた結果、一部で目標に至らなかったものの、全体的には一定の成果があったものと考えています。特に、個に応じた支援教育の推進の中で、通常学級に在籍する児童生徒への個別の教育支援計画を、すべての学校において作成することができました。

③ 主要事業の取り組み及び評価

学力向上推進事業、中学校合同生徒会事業、特別支援教育推進事業、子どもの読書活動推進事業、N I E教育推進事業、教職員研修事業、特色ある教育推進認定校事業、I C T活用推進事業、環境教育推進事業、キャリア教育推進事業の推進に努めた結果、「確かな学力」を身に付け、自らの人生をたくましく切り拓く君津っ子の育成に、一定の成果があったものと考えています。

(3) 健康的な生活習慣を身に付け、心身共に健やかな体をつくる君津っ子

① 家庭・地域・学校の宣言

家庭の宣言として、家族そろってごはんを食べる機会を増やします。地域の宣言として、だれもが参加できる地域のスポーツ活動を積極的に展開します。学校の宣言として、体力向上にすすんで取り組む子どもを育てます。

② 取組目標及び評価

体力向上、学校体育の充実、生涯体育の推進、食育の推進の充実について、それぞれ指標を定め、連携を図りながら推進に努めた結果、一部で目標に至らなかったものの、全体的には一定の成果があったものと考えています。

③ 主要事業の取り組み及び評価

体力向上プロジェクト事業、ラジオ体操推進事業、食育推進事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業、運動部活動地域連携事業及び学校体育活動指導補助者活用事業の推進に努め、基本的な生活習慣の定着や体力・運動能力の向上に一定の成果があったものと考えます。特に、ラジオ体操推進事業における夏期ラジオ体操会は、教育委員会と協力して開催していただける会場を募集し、教育委員会運営会場と合わせ21会場で開催することができ、過去最多となる市民の参加を得ることができました。

(4) ふるさときみつに誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ活動する君津っ子

① 家庭・地域・学校の宣言

家庭の宣言として、地域の活動・行事へ積極的に参加します。地域の宣言として、地域活動をとおして、地域ぐるみで子どもを育てます。学校の宣言として、郷土を愛し、国際感覚を身に付けた子どもを育てます。

② 取組目標及び評価

英語・国際教育の推進、自然体験学習の推進、伝統文化の継承、地域の教育力の向上について、それぞれ指標を定め、連携を図りながら推進に努めた結果、一部で目標に至らなかったものの、全体的には一定の成果があったものと考えています。

③ 主要事業の取り組み及び評価

英語教育推進事業、自然体験学習推進事業、伝統音楽教育推進事業、博物館基本計画推進事業、スクールミュージアム事業及びきみつ少年少女合唱団育成事業などの推進に努めた結果、ふるさときみつに誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ活動する君津っ子の育成に、一定の成果があったものと考えています。

(5) 君津っ子を支える環境づくり

取り組みの柱として、安全で安心な教育施設・環境の整備、特色ある学校づくり、家庭・地域の子育て支援、安全で安心な学校給食施設の整備・食育機能の充実に大別して定め、事業に取り組んだ結果は次のとおりです。

① 取組目標及び評価

安全で安心な教育施設・環境の整備、特色ある学校づくり、家庭・地域の子育て支援、安全で安心な学校給食施設の整備・食育機能の充実について、それぞれ指標を定め、事業の推進に努めた結果、一部で目標に至らなかったものの、全体的には一定の成果があったものと考えています。

② 主要事業の取り組み及び評価

学校施設耐震化推進事業、学校給食運営事業、小中一貫教育推進事業、校種間連携事業、指導補助教員配置事業、学校安全対策事業、特色ある学校づくり推進事業、小・中学校管理・振興備品整備事業、幼児教育推進事業、学校評価システム推進事業、学校教育ボランティア活用事業、放課後子供教室事業、青少年健全育成支援事業、公民館施設管理運営事業及び武道推進事業の推進に努め、君津っ子を支える環境づくりが前進したものと考えています。

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

一 教育委員会議の開催状況及び審議内容等

平成29年度に開催された教育委員会会議の開催状況及び審議項目並びに協議会の開催による協議事項は、次のとおりです。

1. 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、毎月定例的に開催しております。

平成29年度は13回開催し、教育委員会の事務執行内容等について審議しました。

なお、必要に応じて臨時に開催しております。

2. 教育委員会会議の審議・報告事項

(1) 審議内容

人事関係 20件、条例・規則関係 14件、予算・議会関係 16件、教育行政の運営関係 5件の合計 55件の審議を行いました。

区分	審 議 事 項
人事関係	1. 君津市社会教育委員の委嘱について
	2. 君津市公民館運営審議会委員の委嘱について
	3. 下町集会所運営委員会委員の委嘱について
	4. 君津市学校開放運営委員会委員の委嘱について
	5. 君津市学校開放管理指導員の任命について
	6. 君津市小中学校体力向上プロジェクト委員の委嘱について
	7. 君津市図書館協議会委員の委嘱について
	8. 平成29年度教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について
	9. 君津市教育支援委員会委員の委嘱について
	10. 君津市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について
	11. 君津市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	12. 君津市子どもの読書推進委員会委員の委嘱について
	13. 君津市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	14. 平成29年度君津市優秀な教職員表彰について
	15. 君津市学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師の委嘱について
	16. 公民館長及び公民館分館長の任命について
	17. 君津市社会教育指導員及び君津市家庭教育指導員の任命について
	18. 君津市スポーツ・レクリエーション推進員の委嘱について
	19. 君津市国際化推進コーディネーターの委嘱について
	20. 君津市適応指導教室指導員の委嘱について

区分	審 議 事 項
条例・規則関係	1. 平成29年度教科用図書君津採択地区協議会規約の制定について
	2. 君津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について
	3. 君津市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱第4条第2項の規定に基づく援助費の額の一部改正について
	4. 君津市立幼稚園設置条例を廃止する条例の制定について
	5. 君津市立幼稚園保育料に関する条例第4条第2項の規定に基づく保育料の減免措置に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	6. 君津市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱及び君津市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱第4条第2項の規定に基づく援助費の額の一部改正について
	7. 君津市学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について
	8. 君津市教育支援委員会規則の一部を改正する規則の制定について
	9. 君津市奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	10. 君津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	11. 君津市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の改正について
	12. 君津市立幼稚園設置条例を廃止する条例の施行に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について
	13. 君津市立幼稚園設置条例を廃止する条例の施行に伴う関係訓令の整理に関する訓令の制定について
	14. 君津市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給要綱の全部改正について
予算・議会関係	1. 平成29年度君津市一般会計補正予算（第1号）のうち教育委員会関係予算について
	2. 市が出資又は債務を負担している法人の経営状況について
	3. 平成29年度君津市一般会計補正予算（第2号）のうち教育委員会関係予算について
	4. 君津市立小学校設置条例及び君津市立中学校設置条例の一部改正について
	5. 君津市学校給食共同調理場新築工事請負契約の締結について
	6. 君津市学校給食共同調理場新築電気設備工事請負契約の締結について
	7. 君津市学校給食共同調理場新築空気調和設備工事請負契約の締結について
	8. 君津市学校給食共同調理場新築給排水衛生設備工事請負契約の締結について
	9. 君津市学校給食共同調理場新築厨房設備工事請負契約の締結について
	10. 小糸・清和地区中学校統合施設大規模改造工事請負契約の締結について
	11. 平成29年度君津市一般会計補正予算（第4号）のうち教育委員会関係予算について
	12. 君津市いじめ防止対策推進条例に関する意見について

	13. 君津市奨学金貸付条例の一部を改正する条例に関する意見について
	14. 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例に関する意見について
	15. 平成29年度君津市一般会計補正予算（第5号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	16. 平成30年度君津市一般会計予算のうち教育委員会関係予算に関する意見について
教育行政 の運営関係	1. 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
	2. 平成30年度使用教科用図書の採択について
	3. 新学校給食共同調理場の運営方針について
	4. 第三次きみつ教育創・奏5か年プラン（案）について
	5. 第三次君津市子ども読書活動推進計画について（案）

（2）報告事項

教育長が専決処分した事項等について教育委員会会議で報告しました。

1. 君津市教育委員会行政組織規則第8条の規定に基づき臨時に代理した処理事項 ・教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価（追記）について ・平成29年度君津市一般会計補正予算（第6号）及び平成30年度君津市一般会計補正予算（第1号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
2. 教育長が出席した主な行事及び出席予定の行事について
3. 専決処分により後援の承認をした行事について
4. 専決処分により補助金を決定した事業について
5. 準要保護児童生徒の認定及び取消しについて
6. 研究会・競技会等の主催・共催行事について
7. その他重要案件について

3. 教育委員会協議会の協議事項等

学校再編関係 5 件、学校教育関係 6 件、生涯学習・文化振興関係 3 件、教育振興基本計画関係 4 件の合計 18 件について報告を受け、協議を行いました。

区 分	協 議 項 目
学校再編 関係	1. 小中一貫教育推進事業について
	2. コミュニティ・スクールについて
	3. 小糸・清和地区統合校の校名について
	4. 小糸・清和地区の統合に伴う新校名の原案について
	5. 小櫃・上総地区統合校の校名について
学校教育 関係	1. 新学校給食共同調理場建設後の管理運営等について
	2. (仮称) 君津市いじめ防止対策推進条例の制定について
	3. 市内中学校女子生徒のいじめ重大事態について
	4. 君津市いじめ防止対策推進条例(素案)について H29.10
	5. 君津市いじめ防止対策推進条例(素案)について H29.11
	6. 市内中学校教諭の逮捕について
生涯学習 文化振興 関係	1. 君津市青少年相談員連絡協議会主催行事における事案について
	2. 君津市子どもの読書活動推進計画(検討資料)について
	3. 「未来をつくる若者オブザイヤー」について
教育振興 基本計画 関係	1. 次期教育振興基本計画の策定について H29.8
	2. 次期教育振興基本計画について H29.9
	3. 第3次きみつ教育 創・奏5か年プラン(素案)について H29.10
	4. 第3次きみつ教育 創・奏5か年プラン(素案)について H29.11

二 第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの取組状況及び点検・評価結果

1. 平成29年度評価基準の概要

「取組目標の評価」及び「主要事業の評価」については、それぞれの取り組み及び事業別に、次のとおり、S・A・B・Cの4区分で評価しました。

(1) 家庭・地域・学校の宣言

取り組みの方向性を示すものとし、宣言の内容について記載し、評価を行わないこととしました。

(2) 18の取組目標の評価

S	目標値に対して、成果が100%以上。
A	目標値に対して、成果が90%以上から100%未満であった。
B	目標値に対して、成果が50%以上～90%未満であった。
C	目標値に対して、成果が50%未満であった。

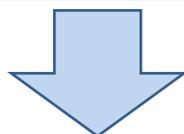
(3) 45の主要事業の評価

S	計画どおり又は計画以上の事業が執行され、大きな成果があがった。
A	ほぼ計画通りに事業が執行された。(8割程度)
B	事業は執行されたが予定より縮小された。
C	事業が執行できなかった。

(4) 総合評価の仕方(計算方法)

- ・18の取組目標及び45の主要事業に対し、S・A・B・Cの評価をそれぞれ点数化し、平均値によって総合評価を行います。

S : 3.0点	A : 2.0点	B : 1.0点	C : 0.0点
----------	----------	----------	----------



2.6点以上	2.5～1.6点	1.5～0.6点	0.5以下
S	A	B	C

2. 点検及び評価結果

(1) 思いやりの心を互いに育み、かけがえのない自他の命を大切にする君津っ子

【現状と取り組みの方向】

平成 23 年 3 月 11 日に東日本を襲った未曾有の大震災は、苦難の中でも輝いた、多くの人々の汗と涙と笑顔と共に、改めて「命の尊さ」「危機回避能力の重要性」「人と人との絆」「支え合うことの大切さ」を教えてくださいました。また、市民アンケートには、6割の市民から「心の教育の充実」を求める声が寄せられています。学校教育では、「生命尊重」と「規範意識の醸成」に重点を置いた取組を推進してきましたが、さらに保護者・地域との連携を深めることの必要感が高まっています。

家庭・地域・学校が一体となって、自他の命を大切に、相手を思いやる心を持った君津っ子を育てます。また、自分の命は自分で守る主体性を持つ教育の推進に取り組み、安心して過ごせる学校づくりを目指す中で、危機回避能力や規範意識の向上に努めます。

① 家庭・地域・学校の宣言

区 分	取 り 組 み 内 容
家庭の宣言	「おはよう」や「ありがとう」をすすんでいえる子どもを育てます。
地域の宣言	大人が率先して社会のルールやマナーを守ります。
学校の宣言	思いやりの心を持って、行動できる子どもを育てます。

② 取組目標及び評価 S・・・3点 A・・・2点 B・・・1点 C・・・0点

目 標	指 標	年間目標と結果	評価
	平成25年度 → 平成29年度		
自他の命を大切に し、いじめを許さな い集団づくりと、防 災意識の向上に努め ます。	いじめを受けている友達を助けよ うと行動することができる児童生 徒の割合 小5 85% ⇒ 95% 中2 75% ⇒ 85%	数値目標 小5 95.0% 中2 85.0% 調査結果 小5 80.8% B 中2 76.3% B	A
	地震の時、自分のいる場所に応じ た身の守り方を指導している学校 の割合 小学校 100% ⇒ 100% 中学校 100% ⇒ 100%	数値目標 小学校 100% 中学校 100% 調査結果 小学校 100% S 中学校 100% S	

目 標	指 標 平成25年度 → 平成29年度	年間目標と結果	評価
	地震や津波等で避難した後、家の人と会う場所を決めている児童生徒の割合 小学校 100% ⇒ 100% 中学校 100% ⇒ 100%	数値目標 小学校 100% 中学校 100% 調査結果 小学校 51.2% B 中学校 58.1% B	
家庭・地域と連携し、子どもの規範意識を育てます。	社会や学校のルールを守っている児童生徒の割合 小5 85% ⇒ 95% 中2 93% ⇒ 95% 手本としたいと思う大人が身近にいる児童生徒の割合 小5 80% ⇒ 90% 中2 63% ⇒ 85%	数値目標 小5 95.0% 中2 95.0% 調査結果 小5 84.0% B 中2 91.9% A 数値目標 小5 90.0% 中2 85.0% 調査結果 小5 68.4% B 中2 66.3% B	B
児童生徒の長欠率の減少に努めます。	小中学校における児童生徒の長欠率（長欠者数／全児童生徒数） 小学校 0.70% ⇒ 0.50% 中学校 3.50% ⇒ 2.50%	数値目標 小学校 0.50% 中学校 2.50% 調査結果 小学校 1.03% C 中学校 4.54% B	C
互いのよさを認め合う人間関係づくりに努めます。	豊かな人間関係づくり実践プログラムの授業実施率 小学校 93.0% ⇒ 100% 中学校 40.0% ⇒ 100%	数値目標 小学校 100% 中学校 100% 調査結果 小学校 88.8% B 中学校 80.8% B	B

③ 主要事業の取り組み及び評価

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
<p>道徳・人権教育推進事業</p>	<p>道徳・人権教育を発達段階に応じて計画的に行い、家庭・地域に向けた授業公開を積極的に実践する中で連携を深め、「地域に根ざした心の教育」を推進します。</p> <p>自他の命を大切にし、豊かな人間関係を築くために、豊かな人間関係づくり実践プログラムの完全実践や道徳の授業に活用できる資料活用の推進を図ります。</p>	<p>授業公開を行った学級は、目標である市内全小・中学校学級数の80%に対し、87.1%（小学校95.3% 中学校68.8%）となりました。また、実践報告書をまとめました。</p> <p>市内教職員向けに、会報を年間3回発行し、主体的・自主的な実践に向けて意識の啓発を図りました。また、小・中学校の人権教育担当者を対象とし、授業参観、協議会を行いました。木更津人権擁護委員協議会の方からもご意見をいただき、各学校での人権教育を見直す機会となるとともに、日々の授業実践から、人権に関する意識を耕していくことの大切さを再確認する場となりました。</p> <p>道徳の教科化に向けて、「道徳教育推進教師研修会」（6/2）と「道徳研修会」（8/17）を実施しました。今後も道徳の教科化が円滑に進むよう情報提供を行い、道徳・人権教育の推進を図ります。</p>	<p>A</p>
<p>防災教育推進事業</p>	<p>理科・社会・保健体育等を中心とし、全教育活動を通して自然災害に関する知識を身につけさせます。</p> <p>防災マニュアルの整備・充実を図るとともに、家庭・地域と連携した訓練の実施や避難所の運営方法を考えます。</p>	<p>全小中学校及び幼稚園において、ワンポイント避難訓練を含め、防災訓練を休憩時間・清掃中・登下校中等に設定し、計画的に実施しました。</p> <p>各学校において、教育活動全体を通して自然災害に関する知識を身に付け、主体的な行動がとれるようにするための防災教育全体計画の見直しを実施することができました。</p> <p>今後も、児童生徒の危機回避能力の育成と、自助意識を高めるために学校からの啓発活動を行うとともに、市PTA連絡協議会や危機管理課との連携を深め、学校・家庭・地域の役割と連携のあり方について理解を深めていきます。</p>	<p>A</p>

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
長期欠席対策支援事業	<p>長欠対策協議会等を通じて、家庭・地域・学校・教育関係機関の協力体制をつくり、長期欠席児童生徒の支援を推進します。</p> <p>適応指導教室を運営し、個に応じた指導・支援を充実させ、学校復帰を目指します。</p> <p>さわらび相談室や中学校配置のスクールカウンセラーを活用し、支援の輪を広げます。</p>	<p>長欠・不登校の解消に向けた取り組みを共通確認し、各校が具体的な目標を決め、校内で組織的に取り組む「不登校ゼロを目指すチャレンジ作戦」を継続的に行いました。長欠児童生徒数は、年度末小学校39名(1.03%)、中学校91名(4.54%)でした。</p> <p>今後は、学校を中心に、家庭・地域・関係機関が、組織的かつ迅速な対応が取れるように連携を強化していきます。</p> <p>適応指導教室では、自主性やコミュニケーション能力の改善、個に応じた心のケアを図り、通級生の学校復帰に向けた支援をしました。</p> <p>また教職員の生徒指導・教育相談に関する教職員研修の充実を図るとともに、関係機関の相談窓口等の周知に努めます。</p>	B
生徒指導研究協議会事業	<p>子どもが存在感や自己実現の喜びを実感できる環境づくりを目指し、調査研究をもとに児童生徒の実態を把握し、問題の背景に見られる学校・家庭・地域の要因を共通に認識し、緊密な連携・協力に向けた提言を行います。また、これまでの調査研究によって作成した「保護者向けリーフレット」が有効に活用されるよう、活用例を紹介していきます。</p>	<p>自尊感情の低下をテーマに取り上げ、本研究協議会委員が執筆し、「セルフエスティーム」を市内教職員向けに発行しました。</p> <p>研究協議会を3回開催し、保護者向けのリーフレットの活用事例集を作成し、各学校へ配付しました。</p> <p>平成30年度以降は、本市の生徒指導上の課題である、長欠率の解消といじめ問題に対応するため、生徒指導研究協議会と長欠対策協議会を一本化し、生徒指導上の諸問題について調査、分析をし、その実態と原因を的確に把握します。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
<p>子どもの安全確保教育プログラム実践事業</p>	<p>「いのちを大切にするキャンペーン」に基づく自らの身を守るスキルを身に付ける体験的な授業を実施し、人権意識の向上を図り、自らの身の安全を守るための知識や技能(社会的スキル)を習得させることで、危機回避能力を身につけさせます。</p> <p>「私たちの道徳」を活用した「共に助け合って生きること」の授業を実施します。</p>	<p>平成27年度より凍結。</p> <p>教職員が研修で身につけたスキルを基に、道徳や学級活動を中心に指導を継続していきます。</p> <p>保護者への啓発活動とともに学校・家庭・地域で子どもを育て、守るという観点からも、市PTA連絡協議会、生涯学習課や公民館で実施する事業との連携を図り、人権・道徳教育への認識を一層深めていきます。</p>	<p>—</p>
<p>交流及び共同学習推進事業</p>	<p>県教育委員会と協議を重ね、君津特別支援学校や袖ヶ浦特別支援学校との連携を一層深めていく中で、交流及び共同学習や居住地校交流を実施し、障害に対する正しい理解を深めます。</p> <p>障害のある児童生徒と共に学び合う場を設定し、地域のお年寄りや障害を持つ方とふれあう活動を通して、君津市に暮らす仲間として、思いやりの心を持って行動できる子を育てます。</p>	<p>特別支援チームにより、各校を巡回訪問し、実施状況等、現状を把握しました。さらに、全小・中学校の実践を収集し、実践事例集を作成しました。また、特別支援教育推進委員会に資料提供して、現状の課題と事業の推進に係る具体案を検討し、実践事例集に生かしました。</p> <p>特別支援学校との、交流及び居住地交流は、小学校5校6名、中学校2校2名で実施されました。今後は、市教委も積極的に関わり相互理解を深める授業づくりを支援します。</p>	<p>A</p>

(2) 確かな学力を身につけ、自らの人生をたくましく切り拓く君津っ子

【現状と取り組みの方向】

21世紀は、「知識基盤社会」の時代であると言われ、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育むことがますます重要になっています。

本市では新しい学習指導要領による学習内容の増加や若年層教員の増加に伴い、授業の改善や授業力の向上が喫緊の課題となっています。

また、本市はこれまで、人との支え合いを意識した「他者のために、他者と共に生きる力」の育成に取り組んできました。変化の激しい社会を生き抜くため、今後はさらに、児童生徒が他者とコミュニケーションを図ることで社会性を身につけ、学びを深めることのできるよりよい教育の場や教育のあり方を求めていく必要があります。

取り組みの方向性としましては、個に応じた細やかな指導を推進するための人的・物的な環境の整備を継続して行います。

学校においては、「わかる授業、魅力ある授業」づくりの実現を目指します。具体的には、児童生徒の学習意欲と学力の向上、学習習慣の定着に向けた取り組みを進めるとともに、体験的な学習の推進と言語活動の充実を図り、「さらなる生きる力」につながる確かな学力を身につけた君津っ子を育てます。また、中学校間交流を推進し、社会性を身につけた生徒の育成を図ります。

① 家庭・地域・学校の宣言

区 分	取 り 組 み 内 容
家庭の宣言	生活リズムを整え、決まった場所と時間で学習に集中できる環境を作ります。
地域の宣言	学校の教育活動に積極的にに関わり、学校と共に地域の子どもを育てます。
学校の宣言	魅力あるわかる事業を実践し、確かな学力を身につけた子どもを育てます。

② 取組目標及び評価 S・・・3点 A・・・2点 B・・・1点 C・・・0点

目 標	指 標		成 果	評 価
	平成25年度 → 平成29年度			
子どもの学力の向上を目指します。	授業が「わかる」と感じている児童生徒の割合 小学5年生 94% → 95% 中学2年生 76% → 80%		数値目標 小5 95.0% 中2 80.0%	B
	1日1時間以上家庭学習をする児童生徒の割合 小学6年生 55% ⇒ 70% 中学2年生 50% ⇒ 70%		調査結果 小5 91.1% A 中2 79.4% A 数値目標 小学校 70.0% 中学校 70.0%	

目 標	指 標 平成25年度 → 平成29年度	成 果	評 価
		調査結果 小学校 53.8% B 中学校 55.5% B	
	県標準学力検査で、市平均が県平均を上回る教科の数 小学校 13/20 ⇒ 20/20 中学校 5/15 ⇒ 10/15	数値目標 小学校 20/20 中学校 10/15 調査結果 小学校 12/20 B 中学校 2/15 C	
特別に支援を必要とする子どもの自立を支援します。	通常の学級に在籍する児童生徒への個別の教育支援計画 小学校 60.0% ⇒ 100% 中学校 75.0% ⇒ 100%	数値目標 小学校 100% 中学校 100% 調査結果 小学校 100% S 中学校 100% S	S
読書活動の充実を図り、読書の好きな子どもを育てます。	乳児のいる家庭で日常的に読み聞かせをしている割合 乳児 40% ⇒ 60%	数値目標 60.0% 調査結果 43.2% B	B
	学校図書館からの一人あたり年間貸出冊数 小学校 40冊 ⇒ 50冊 中学校 10冊 ⇒ 15冊	数値目標 小学校 50冊 中学校 15冊 調査結果 小学生 54.8冊 S 中学生 7.8冊 B	
社会性を身につけた子どもを育てます。	誰に対してもあいさつがすすんで言える児童生徒の割合 小5 90.0% ⇒ 95% 中2 90.0% ⇒ 95%	数値目標 小5 95.0% 中2 95.0% 調査結果 小5 84.6% B 中2 84.3% B	B

③ 主要事業の取り組み及び評価

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
<p>学力向上 推進事業</p>	<p>学力向上推進委員会を設置し、確かな学力を身に付け、自らの人生をたくましく切り拓く君津っ子の育成に向け、今日的な教育課題解消を目指します。</p> <p>県標準学力検査の結果や全国学力学習状況調査結果、児童生徒を対象とした家庭学習・生活時間に関わるアンケート結果から本市児童生徒の実態を把握し、市としての指針や個に応じた具体的な指導方法の工夫・改善について提言を行います。</p>	<p>学力推進委員会では、君津市小中一貫カリキュラム追加資料として、全国学力学習状況調査の結果から自分の考えを説明したり記述したりすることに課題があるため、言語能力の育成に向けた提言を示すとともに、言語活動実践事例を作成し校内で活用できるように全校に配付しました。</p> <p>また、家庭教育の啓発として、小・中学校別に家庭学習の充実に向けた資料を作成し、全小中学校の保護者及び教職員へ配付し学級懇談会等で活用できるようにしました。</p> <p>今後も児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるために、児童生徒の実態を把握するとともに、移動センター等で教科指導を充実させるとともに、授業改善につながる資料を作成し教員の指導力の向上を図ります。また、学力向上推進委員会において、本市児童生徒の課題解決に向けた提言や資料提供を行います。</p>	<p>A</p>
<p>中学校合同生徒会 事業</p>	<p>学校を越えた、中学校間交流を通し、各中学校新生徒会役員たちの連携を深め、自主性、協調性、コミュニケーション能力等の社会性を身につけた生徒を育成します。</p> <p>リーダー研修、全体協議会等を通じ、次代を担う君津市のリーダーを育成します。</p> <p>学校からいじめをなくし、仲間一人一人を大切にしていこうと、各学校で独自の取り組みを行い、生徒会を中心に啓発活動を行います。</p>	<p>あいさつ運動、エコ活動がより活性化し、各中学校とも工夫のある取組を行いました。8月に開催した「中学校合同生徒会全体協議会」では、各学校の実践報告を行い、他校の良い実践を学び合えました。</p> <p>あいさつ運動では、地区の小学校児童会や青少年健全育成協議会と共同で行う等、地域への広がりが見られました。</p> <p>今後は、いじめ撲滅運動から出発した、思いやり運動を更に発展させていきます。</p>	<p>A</p>

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
特別支援教育推進事業	<p>君津特別支援学校との連携を深め、特別支援チームの巡回・要請訪問や君津ほほえみ相談室による相談活動等、学校支援体制の充実を図ります。</p> <p>支援の必要な子の実態把握に努め、生活体験指導員の適切な配置に努めます。</p> <p>支援ファイルの作成と活用を推進して、支援の継続と体制整備の充実を図ります。</p>	<p>特別支援チームによる巡回訪問を実施し、困り感を持つ児童生徒を実際の授業の中で観察し、それぞれの実態に応じた支援の仕方や、校内体制の構築に向けての具体的なアドバイスをすることができました。</p> <p>また、特別支援学校との共催で、ほほえみ相談、見え方相談を実施し、相談活動の充実を図りました。</p> <p>今後は、交流及び共同学習推進事業を統合し、「君津市特別支援教育推進委員会」を通して、よりよい交流の仕方について協議していきます。</p>	A
子どもの読書活動推進事業	<p>君津市子ども読書活動推進計画に沿って、各年代に応じた読書環境の整備と、読書活動の充実を重点とした取り組みを継続します。</p> <p>読書活動を支える関係機関等の連携を強化し、推進体制の充実を図ります。</p>	<p>1歳6か月児健康診査における、ブックスタート事業を継続して実施しました。また、平成29年度は乳児期向けブックスタート事業PRポスターの作成を行いました。学校を対象とした「学校団体貸し出しセット」の運用においては、延べ貸し出し回数は72回、延べ貸し出し冊数は1,401冊となり、活用が定着しました。また、中学校団体貸し出しセットの見直しを図りました。</p> <p>学校図書館からの一人あたりの貸し出し冊数は、目標値小学校50冊、中学校15冊に対し、小学校54.8冊、中学校7.8冊でした。</p> <p>今後は、家庭での読み聞かせや読書環境の充実、読み聞かせボランティアのスキルアップ、学校での読書活動の取組についての情報発信、学校、中央図書館、教育委員会の連携を推進します。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
N I E 教育推進事業	<p>学習活動における情報や検証資料等の教材やディベートの素材として、新聞を日常的に活用します。</p> <p>N I E 週間を設け、学校新聞や地域新聞等「新聞づくり」を通して表現力や語彙力、社会への関心を深めます。</p>	<p>N I E 教育に先進的に取り組んでいる秋元小・周南中を実践協力校としました。新聞記事を使ったワークシートを毎週水曜日に各学校に提供することで、活用が広がりました。全国学力・学習状況調査の児童質問紙においても、社会の出来事に対して関心が高まりました。</p>	A
教職員研修事業	<p>主に若年層教職員の実践的な指導力向上のための研修を企画・運営します。</p> <p>教育における今日的課題や、学校が直面する課題の解決に資する研修を、企画・運営します。</p> <p>県教育委員会の実施する研修や、君研・市研への積極的参加を奨励します。</p>	<p>若年層教員研修では、それぞれの経験年数に合った充実した研修を行いました。5年目教員が2年目教員を指導する、合同研修を行いました。また、4年目教員研修に教育相談研修を、5年目教員研修に、教科指導研修及び特別支援教育研修を実施しました。</p> <p>教育相談研修会は参加率向上に向けて2講座を4年目研修と兼ねて実施しました。また、ミドル層の教員を対象としたミドルリーダー研修を新設し、今後の教育動向や今日的教育課題についての研修を実施しました。</p> <p>今後は、教科研修を充実させて、中堅・ミドル層へ向けた研修も行うことも検討します。</p>	A
特色ある教育推進認定校事業	<p>特色ある学校教育の内容及び指導方法について研究する団体に対して、その研究を奨励・支援し、その成果を他校へ広げることにより君津市小・中学校教育の一層の充実を図ります。</p>	<p>平成29年度から、「特色ある学校づくり推進事業」に統合して実施しました。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
ICT活用推進事業	<p>学校におけるICT学習環境の整備を含めた、教育の情報化を推進します。</p> <p>児童生徒のICT活用能力の育成、授業等でのICT活用、情報モラル教育の推進を図ります。</p> <p>個人情報などの情報セキュリティ意識の徹底を図りつつ、校務の情報化を推進します。</p>	<p>教員のICT活用指導力が全国平均を上回りました。</p> <p>市主催のICT研修会を2回実施し、教員のICT活用能力の向上を図りました。</p> <p>学校のホームページの更新回数が平均12.4回となり、目標を上回りました。</p> <p>今後は、ホームページの更新やプログラミング教育に関する研修会の開催を行います。また、校務効率化や多忙化解消に向けて、情報提供や支援を定期的に行っていきます。</p>	A
日本語指導教室事業	<p>日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、学校生活に適應できるよう、通級及び派遣による日本語の指導を行います。</p>	<p>平成29年度まで凍結</p> <p>これに変わる支援の手だてとして、国際化推進コーディネーターのうち1名を日本語指導員として、小・中学校に年間156時間派遣しました。</p>	—
環境教育推進事業	<p>君津市学校版環境ISO事業、エコスクールきみつの取り組みを継続し、さらなる環境にやさしい学校づくりや環境を守ろうとする心の育成に取り組めます。</p> <p>体験活動を通して、自然など身の周りの環境と関わり、感性を養い、豊かな環境とその恵みを大切に思う心を育みます。</p>	<p>環境教育推進のため、全小・中学校がエコスクールきみつ認定登録校になっており、今年度の更新対象校7校が審査を実施しました。</p> <p>各学校では、毎年4月に年間計画を立て、エコキャップ回収や節電・節水の省エネ、また自然体験学習などを通し、環境を守る取り組みをしました。</p> <p>今後、エコスクールきみつの認定登録の継続と、学校での環境教育の更なる推進に取り組むとともに、学校だよりやホームページを利用し、保護者や地域に向けて広く紹介・提供できるよう支援していきます。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
<p>キャリア教育推進事業</p>	<p>体験的なキャリア教育をとおして、しっかりした勤労観・就労観を身に付けられるよう推進します。</p> <p>キャリア教育の内容の系統性を図るために、学年間や中学校区での学校種間の連携（縦の連携）を図ります。</p> <p>学校と家庭や地域・社会、事業所等との連携（横の連携）を図ります。</p>	<p>キャリア教育の充実を目指し実施している担当者会議では、本市のキャリア教育の重点としている「小・中学校の連携」「地域の特性の活用」「社会的資質の向上」を3本柱として、子どもの夢を育む取組についての周知を図りました。</p> <p>キャリア教育担当者会議を開催し、本市のキャリア教育の3つの柱をもとに取り組んできた各学校の実践について共有しました。</p> <p>また、各学校が取り組んだキャリア教育についてまとめた実践事例集を発行しました。</p> <p>今後は平成26年度に各学校が作成した、「基礎的・汎用的能力育成シート」の見直しを行い、学年間や学校間が連携したキャリア教育の実践を図ります。</p>	<p>B</p>

(3) 健康的な生活習慣を身につけ、心身共に健やかな体をつくる君津っ子

【現状と取り組みの方向】

本市の児童生徒の体力・運動能力は今までの取り組みにより、全国的に高い数値を維持しています。しかしながら、幼い頃からの遊びや運動経験が不足している児童が多く見られ、運動能力の二極化が課題となっています。さらにここ数年、中学校では少子化による運動部数の減少は顕著であり、早急な対策が求められています。「爽走プラン」や「運動マスター」を周知・活用を図り、個に応じた課題・目標を与え、それを克服した喜びを味わわせ、達成感・成就感を得られるような工夫を継続していきます。

君津市では、生きる力の基盤を『丈夫で強い』心と体づくりと捉え、「体力向上プロジェクト委員会」を中心に、小学校期の「育てる体育」中学校期の「鍛える体育」を通して健康の保持・増進に向けた実践力を養います。

さらに市政施行40周年の健康都市宣言を受け、ラジオ体操を通して規則正しい生活習慣の確立を目指します。

① 家庭・地域・学校の宣言

区分	取組み内容
家庭の宣言	家族そろってごはんを食べる機会を増やします。
地域の宣言	だれもが参加できる地域のスポーツ活動を積極的に展開します。
学校の宣言	体力向上にすすんで取り組む子どもを育てます。

② 取組目標及び評価 S・・・3点 A・・・2点 B・・・1点 C・・・0点

目標	指標		成果及び今後の対応	評価
	平成25年度	平成29年度		
体力の向上に努め、生涯にわたって運動に親しむことができる体力と実践力を養います。	県運動能力証合格率 小学校 50.0% ⇒ 50.0% 中学校 40.0% ⇒ 40.0%		数値目標 小学校 50.0% 中学校 40.0% 調査結果 小学校 48.6% A 中学校 36.4% A	A
いつでもだれでも運動のできる環境づくりを推進します。	夏期ラジオ体操会参加者数 25,000人 ⇒ 26,000人 (H27)		数値目標 26,000人 調査結果 26,257人 S	A
	総合型地域スポーツクラブのべ活動会員数 3,500名 ⇒ 6,000名		数値目標 6,000名 調査結果 5,112名 B	

目 標	指 標 平成25年度 → 平成29年度	成果及び今後の対応	評価
食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けます。	食事（給食）を残さず食べる児童生徒の割合 小学校 80.0% ⇒ 85.0% 中学校 75.0% ⇒ 80.0%	数値目標 小学校 85.0% 中学校 80.0% 調査結果 小学校 65.3% B 中学校 67.3% B	B
	家族と朝食を食べる児童生徒の割合 小学校 90.0% ⇒95.0% 中学校 90.0% ⇒95.0%	数値目標 小学校 95.0% 中学校 95.0% 調査結果 小学校 87.0% A 中学校 73.4% B	

③ 主要事業の取り組み及び評価

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
体力向上プロジェクト推進事業	小学校期（育てる体育）から中学校期（鍛える体育）の9年間を計画的・継続的に、さらに組織的な取り組みとするために「体力向上プロジェクト委員会」の委員を中心として、さまざまな取り組みを推進します。 爽走プランを活用し、持久力向上を柱に小中連携を図るとともに、研修会、実技教室等の開催をとおして、児童生徒の技術力や指導者の力量を高めます。	本市の体力・運動能力調査結果については、小中学校ともに、県平均を上回っており、前年度と比較すると小学校・中学校共に微増となっています。体力向上プロジェクト委員会では、引き続き県平均との比較において全ての項目を上回ることを目標に、体育主任研修会等を実施していきます。	A
ラジオ体操推進事業	『早起き、早寝、家族そろって朝ごはん』の実現・異世代交流・継続的な運動習慣の確立を目指します。一般対象の講習会の実施や、まちづくりふれあい講座を活用し積極的に周知します。より地域性の高い夏期ラジオ体操会を目指します。	夏期ラジオ体操会を開催し、延べ26,257人の市民が参加しました。 正しいラジオ体操の普及を図るため、一般向けラジオ体操講習会の開催やまちづくりふれあい講座としてラジオ体操講座を開催しました。 今後も継続的にラジオ体操講習会やラジオ体操講座を開催し、正しいラジオ体操の普及活動を行います。 夏期ラジオ体操会の認定会場を募集し、市主催会場を見直します。	S

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
食育推進事業	<p>小学校1・2年生では好き嫌いについて、3・4年生では3つの食品群及び生活習慣病について、5・6年生では家庭科の授業の中で1食分の献立について、中学校では生活習慣病を予防するための食生活の指導を行います。</p>	<p>食育指導として、学校栄養教諭及び学校栄養職員を幼稚園1園、小学校17校、中学校11校に計180時間派遣することができました。また、生活習慣病予防検診の事後指導及び栄養相談を18回41人に対し実施しました。</p> <p>今後、小学校5年生と中学校2年生を対象としたアンケート調査の結果を考察し、家庭での食生活状況を把握するとともに、さらに家庭との連携を図るため、より分かりやすい指導が出来るように取り組んでいきます。</p>	B
総合型地域スポーツクラブ育成事業	<p>スポーツ活動を通して青少年の健全育成や住民の健康・体力の保持増進と親睦を図り、明るく豊かな地域コミュニティーを推進するため、総合型地域スポーツクラブの設立・育成を支援します。</p> <p>地域住民、スポーツ団体、クラブ事務局と連携して、クラブの自主的な運営を支援します。</p> <p>新たにクラブ設立の機運が高まった地域について、立ち上げを支援します。</p>	<p>小糸レインボークラブの活動状況は会員数183名、活動実績233回、参加者5,112名でした。</p> <p>現在、自立的な運営を目指し、様々な取り組みを行っています。今後も行政としてできる支援を行っていきます。市内他地区の設立に向け、積極的に立ち上げようとする団体に対して支援していきます。</p>	B
運動部活動地域連携事業	<p>複数校合同による運動部活動を通して生徒のニーズに応じた活力ある部活動を推進します。</p> <p>生徒の個性伸長を図るため人的（指導）、物的（選手輸送）支援を行います。</p> <p>中学校の部活動体験や総合型地域スポーツクラブとの連携で実施可能種目の拡大を目指します。</p>	<p>実践地域の学校を中心に、合同練習や合同チームで好成績が残せました。今後も種目検討等、選手輸送支援を継続していきます。</p> <p>また、学校再編を見据えて、事前交流や統合前の大会出場に伴う練習等、実践地区であらためて協議していきます。</p>	A
学校体育活動指導補助者活用事業	<p>養成講座を実施して講師登録を行います。各学校からの申請にしたがって講師派遣し、謝金を支払います。登録者については、小中学校の体育授業の支援、運動部活動への補助、総合型地域スポーツクラブの指導者等として派遣など、多岐にわたるさまざまな体育活動に活用を図ります。</p> <p>地域の指導者との連携を図り、地域で支える学校体育活動を推進します。</p>	<p>養成講座を実施し、指導者の資質向上を図るとともに運動部活動、総合型地域スポーツクラブ、小学校の相撲・陸上練習、特に中学校の武道において効果的に活用することができました。</p> <p>今後も指導者派遣を積極的に進め登録者の有効利用を図るとともに、事業をより多くの市民、関係団体に周知していきます。</p>	A

(4) ふるさと君津に誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ活躍する君津っ子

【現状と取り組みの方向】

グローバル化が叫ばれる今日、国際社会において主体的に生きていくためには、広い視野と国際感覚、そして何より英語によるコミュニケーション能力が、必要不可欠です。国際感覚の基本は、自国や、自分を取り巻く地域の自然と文化を理解し、その上で相手国の文化を受け入れることにあります。地域と密接に関わりをもち、ふるさと君津の自然の素晴らしさを理解し、そこから一步を踏み出して、世界を舞台に活躍できる君津っ子の育成は、君津市を支える大きな力となります。

第一次きみつ教育 創・奏5か年プランでは、君津市独自の英語教育の目標と手順を示した、『君津市英語教育の指針』を作成、併せて国や他の市町村に先駆けて小学校外国語活動を導入し、活動案集等も作成してきました。また、清和をフィールドとした体験学習環境を整え、コースや指導内容の開発を行ってきました。子どもたちはもとより、学校の先生方にとっても、君津の自然を見直す良い機会となっています。

地域活動の活性化と、学校との関わりを強化します。また自然体験学習を推進し、郷土を愛する心を育てます。そして学校では、外国語活動（英語）及び英語科授業の条件を整備し、本市独自の英語教育推進事業により、質の高い英語教育を実践します。

① 家庭・地域・学校の宣言及

区分	取 組 み 内 容
家庭の宣言	地域の活動・行事へ積極的に参加します。
地域の宣言	地域活動をとおして、地域ぐるみで子どもを育てます。
学校の宣言	郷土を愛し、国際感覚を身に付けた子どもを育てます。

② 取組目標及び評価 S・・・3点 A・・・2点 B・・・1点 C・・・0点

目 標	指 標 平成25年度 → 平成29年度	成果及び今後の対応	評価
市独自の英語教育推進事業を推進し、生徒の英語力向上を図ります。	君津市版英語検定取得率（中学校） 取得率目標 平成27年度 60% 平成29年度 70% 中学校調査対象級 7月 12月 3月 1年生 10級 9級 8級 2年生 7級 6級 5級 3年生 4級 3級 2級 ・7月、12月、3月に調査した取得率を平均化したものを年間最終評価とする。	数値目標 平成29年度数値目標 中学校 平均取得率 70% 平成29年度調査結果 中学校 69.2% A	A
自然体験学習を推進します。	自然体験学習実施校数 小学校 17校 小・中学校17校 ⇒ 中学校 7校 計 24校	数値目標 小・中学校 24校 調査結果 小・中学校 20校 B (小学校17校 中学校3校)	B

目 標	指 標 平成25年度 → 平成29年度	成果及び今後の対応	評価
地域の伝統文化 や歴史への興味 関心を深めます。	地域の伝統音楽活用率 小学校 45.0% ⇒ 80.0% 中学校 10.0% ⇒ 50.0%	数値目標 小学校 80.0% 中学校 50.0% 調査結果 小学校 70.6% B 中学校 54.5% S	A
	児童生徒の箏の体験率 小学校 93.0% ⇒ 100% 中学校 72.0% ⇒ 100%	数値目標 小学校 100% 中学校 100% 調査結果 小学校 100% S 中学校 100% S	

③ 主要事業の取り組み及び評価

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
英語教育 推進事業	本市独自の英語（活動）行事を 企画・運営します。 君津市英語教育構想の具現化に 向けて取り組みます。中学生を対 象とした施策として、家庭学習習 慣と基礎・基本の定着とした取組 と、英語に興味・関心がある生徒 の力を更に伸ばすことのできる取 組を実施していきます。	イングリッシュ・デイ・キャンプを 開催し、中学生42名が、英語のみの 世界を体験しました。また、発進力を 高めることを目標とした英語コンテ ストを午後の部で実施しました。『君津 市版英語検定』は各校が授業や家庭学 習、休業中の課題として活用し、全中 学校での実施ができました。取得率の 更なる向上を目指していきます。今後 は、グローバル人材を育成するための 英語教育改革に対応した取組として、 小学校英語の充実を図るとともに、小 中連携の支援及び国際教育の推進に向 けてカリキュラム開発を行います。	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
自然体験学習推進事業	<p>「発見！感動！ふれあい！ふるさと君津」のテーマのもと、小学校5年生と中学校2年生を中心にした自然体験学習を家庭・地域・学校・行政の4者が連携・協力しながら実施します。</p> <p>市内のすばらしい自然の中で友だちとともに活動させることで、環境保全に対する関心を高め、ふるさと君津を愛する心や他者への思いやりの心、忍耐力を育みます。</p> <p>体験学習で培った感性や想像力を、学校での言語活動や表現活動につなげるなど、生きた学習に発展させることをねらいます。</p>	<p>自然体験学習の実施状況は、小学校では全17校が実施することができました。活動内容は、山歩き・川学習が11校、雨天プログラム火起こし体験が6校です。</p> <p>中学校では、3校が実施(※天候不良のため、2校が当日中止)しました。活動内容は山歩き体験です。</p> <p>学校のニーズにあったプログラムの開発や、学校独自のプログラムへのサポートを行っていきます。</p>	A
中学生海外派遣事業	国際感覚やコミュニケーション能力の基礎を身につけた生徒を育成します。	平成29年度まで凍結	—
伝統音楽教育推進事業	<p>箏の体験学習を市内全小・中学校と周西幼稚園で実施し、講師による質の高い指導と和楽器に親しむ機会を保障します。</p> <p>地域に伝わる伝統芸能の音楽に係る音源資料を収集し、鑑賞教材を作成して授業支援をすることで、ふるさときみつに誇りと愛着を持てる「君津っ子」を育てます。</p>	<p>中学校区単位の配置計画に沿って、箏の体験学習が全小中学校と周西幼稚園において実施されました。小中学校の連携を図って、体験学習を設定した報告が2例ありました。また、教員対象の研修会を充実させました。</p> <p>また、地域の伝統音楽を題材とした映像教材「ふるさとの音色」を各学校に配付しました。</p> <p>今後は、研修会への参加を呼びかけ、指導者のスキルアップを目指します。また、箏を活用した授業や地域の伝統音楽を活用した、「わかる授業」の具現化を図ります。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
博物館基本計画推進事業	<p>既存の保管資料の環境改善と活用を図ります。</p>	<p>スクールミュージアム事業のモデル校の八重原小学校に移動した民俗資料の一部を、八重原小学校郷土資料室に展示しているほか、公民館文化祭などに貸し出しをしました。</p> <p>今後は、資料を適切に管理し、展示や児童生徒の学習活動での活用を図ります。</p>	A
スクールミュージアム事業	<p>坂畑小学校、小櫃小学校、八重原小学校の3校を中心に推進するとともに、三島小学校を拠点とした千葉県立中央博物館の事業「房総の山のフィールド・ミュージアム」と連携していきます。</p> <p>地域の自然や文化・史跡等についての調査・観察、体験活動を行うとともに、児童の学習成果等の展示や掲示をします。</p>	<p>モデル校3校において、プール清掃前の水生昆虫観察、東京大学千葉演習林観察会、学校周辺の史跡見学や植物観察、勾玉づくり体験等の体験学習を実施しました。また、「スクールミュージアムだより」を作成し、体験学習の内容を市内小学校に発信し、モデル校以外でも情報・成果の共有に努めたほか、実験的にモデル校以外の学校にも希望を募り、道具の貸出も含め、体験プログラム実施を支援しました。</p> <p>今後は、モデル校以外でも学校周辺の資源を生かした体験プログラムを検討し、学習支援の充実を図ります。</p>	S
きみつ少年少女合唱団育成事業	<p>団の活動の充実のために、ソフト・ハード共に支援します。</p> <p>演奏の場を工夫し、内容の充実を図りながら、歌声を君津市から広く発信します。</p> <p>幼・小を対象に団員を募集し、学校の音楽活動のリーダーとしての育成も目指します。</p> <p>優れた演奏を聴き、本物の素晴らしい体験ができるよう、場の設定を工夫します。</p> <p>子どもたちの芸術文化と豊かな人間性の育成を目指し、家庭や地域の方々と連携を取りながら、君津市の薫り高い文化の醸成に貢献する取組みを推進します。</p>	<p>定期演奏会をはじめコンサートやイベントに多数出演し、多くの方に本団の歌声を届けることができました。また、6回目となる「復興応援コンサート」の開催や「2017 こどもコーラス・フェスティバル」への参加により、合唱をとおした都市間・青少年間の交流を実施しました。</p> <p>また、地域行事への参加やチャリティーコンサート等が社会貢献活動として認められ、内閣府より「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。</p> <p>今後も合唱技術の向上と、子どもたちの豊かな心の育成を推進していきます。</p>	S

(5) 君津っ子を支える環境づくり

【現状と取り組みの方向】

東日本大震災を教訓に、わが国では安全・安心な教育施設が求められています。さらに、教育施設は、災害時に地域住民の避難場所としての役割を担っていることから、安全性の確保は喫緊の課題となっています。

少子高齢化が進む中、学校の小規模化は個に応じたきめ細かい指導が可能となる反面、集団で行う活動に制限が生まれるなどの課題があります。これをふまえて、学校規模の適正化や適正規模の基準を検討する状況にあります。

市内3つの共同調理場は、建設から40年前後を経過し、施設・設備が老朽化しています。また、学校給食法改正により、衛生管理の基準が厳格化されています。

安全で安心な教育環境を確保するために、教育施設など物的、人的な環境を推進します。また、地域や学校規模に応じた、工夫ある学校づくりを進めます。

安全・安心な学校給食の提供はもちろん、食育の機能を兼ね備えた学校給食共同調理場の建設を行います。

【取り組みの柱】

- ・安全で安心な教育施設・環境の整備
- ・特色ある学校づくり
- ・家庭・地域の子育て支援
- ・安全で安心な学校給食施設の整備・食育機能の充実

① 取組目標及び評価 S・・・3点 A・・・2点 B・・・1点 C・・・0点

目 標	指 標	成果及び今後の対応	評価
	平成25年度 → 平成29年度		
安全で安心な教育施設・環境の整備を推進します。	学校施設の耐震化率 64棟 ⇒ 91棟	平成28年度で完了 S	B
	公民館の耐震改修等工事 0館 ⇒ 4館	数値目標 2館 調査結果 0館 C	
	防犯カメラの設置 6校 ⇒ 8校	数値目標 1校 調査結果 0校 C	

目 標	指 標 平成25年度 → 平成29年度	成果及び今後の対応	評価
特色ある学校づくりを支援します。	指導補助教員の配置 16名配置 ⇒ 小・中学校に配置継続	数値目標 16名配置 調査結果 12名配置 B	A
	校種間連携モデル地区 0地区 ⇒ 1地区	数値目標 1地区 調査結果 1地区 S	
家庭・地域の子育てを支援します。	放課後子供教室のモデル教室開設 0室 ⇒ 1室	数値目標 2教室 調査結果 1教室 B	A
	青少年健全育成団体の合同研修会 年1回、全地区合同研修会実施	数値目標 100% 調査結果 100% S	
安全で安心な学校給食施設の整備・食育機能の充実を図ります。	学校給食共同調理場の稼働 平成29年度建設	数値目標 建設準備 調査結果 建設準備 S	S

② 主要事業の取り組み及び評価

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
学校施設耐震化推進事業	<p>児童生徒の安全を確保するため、校舎の耐震化を最優先として耐震補強工事を進めます。</p> <p>並行して災害時の避難場所として指定されている屋内運動場についても、改築も視野に入れながら、耐震化を図ります。</p> <p>木造校舎についても、改築も視野に入れ、耐震化を進めます。</p>	<p>第2次君津市学校施設耐震化推進計画を前倒し、優先度の高い校舎、屋内運動場から計画的に耐震化を行い、平成26年度に全ての校舎の耐震補強工事が完了、平成28年度に屋内運動場を含む全ての学校施設の耐震化が完了しました。</p> <p>今後は、照明器具の落下防止やガラスの飛散防止など非構造部材の耐震化を計画的に進めます。</p>	S

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
学校給食運営事業	<p>平成28年度の稼働に向けて、施設の建設を推進し、管理運営方法の検討を進めます。</p> <p>安全で安心な学校給食の提供と、食に関する教育の場の提供を行います。</p>	<p>平成28年度、建設部が建設関連業務を補助執行し、平成29年8月に再設計が完了し、12月に工事請負契約が締結され、建設工事を実施しております。また、新調理場の管理運営方法の検討を進めながら、現在の調理場を安全に運用させていくことを最優先とし、引き続き安全で安心な学校給食の提供に努めていきます。</p>	A
小中一貫教育推進事業	<p>学校規模の適正化の考え方について示した、「学校再編基本計画」に基づき、具体的な実施時期や内容を盛り込んだ「実施プログラム」を作成します。</p> <p>その中で、小中一貫教育について調査研究に取り組みます。</p>	<p>君津市小中一貫カリキュラムをもとにして周南小中一貫教育カリキュラムの作成をしました。また、平成29年度には、小中一貫教育フォーラムにて本市及び学校での取り組みを発表しました。平成30年度からの小中一貫教育スタートに向けて小中学校の教職員が作業部会ごとに分かれ話し合いなどを実施しました。また、保護者や地域に向けて授業参観や学校説明会などの場を活用し小中一貫教育について情報を発信し理解を深めることができました。</p>	A
校種間連携事業	<p>「学校再編基本計画」をもとに、幼・保から小学校へ、また小学校から中学校への接続の仕方や連携に向け、先進事例をもとに、調査・検討を実施します。</p>	<p>統合に伴い、事前の交流などを密にすることや一貫教育をもとに学びと育ちのつながりを目指して調査研究を進めました。</p> <p>今後、高等学校等との連携のあり方について、さらに検討していきます。</p>	B
指導補助教員（はつらつ先生）配置事業	<p>指導補助教員は、原則として多人数学級の学年に所属し、学力向上のための指導助手として学習指導の補助及び生徒指導の補助等を行います。特別な支援を必要とする児童生徒の学習環境を確保し、きめ細かな指導を行います。</p>	<p>教員資格を有する指導補助教員（通称：はつらつ先生）を小学校5名、中学校7名、計12名配置することができました。</p> <p>今後、成果を積み上げ、きめ細かな指導の継続実施を目指していきます。また、教員採用希望者だけでなく、退職教員にも声をかけ、人材確保に努めていきます。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
学校安全対策事業	<p>児童生徒の安全確保を最優先とします。警備員による巡回警備については、全小学校で実施します。</p> <p>中学校においては、防犯カメラ未設置校があるため、段階的に整備します。</p>	<p>警備業務委託により、全小中学校施設後の機械警備及び定期的な夜間巡回警備を実施することで、学校施設の安全管理に努めました。中学校への防犯カメラ設置については、学校再編の動向もふまえながら、未設置校へ段階的に整備していきます。</p>	B
特色ある学校づくり推進事業	<p>学校長の裁量を拡大し、自主的・主体的な学校運営と各学校の創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進するため、経費等の援助を継続的に行います。</p> <p>地域や体験が不足している児童生徒の実態を踏まえ、生活科や総合的な学習の時間を中心とした特色ある教育課程の実現に向けて支援します。</p>	<p>各学校において学習指導・学校行事・特別活動において学校の特色を生かした取り組みを展開しました。</p> <p>その中で、各学校が自ら実践している取り組みなどを表彰し、その情報を共有しました。</p> <p>小中一貫教育では、周南小中を推進校として調査、研究を進めました。</p> <p>また、周西南中学校区において「コミュニティ・スクール導入等促進事業」を実施しました。推進委員会や地域説明会等で地域から出された意見を参考に、平成30年度から周西南中学校区にコミュニティ・スクールを導入し、具体的な活動を展開していきます。</p>	A
小中学校管理・振興備品の整備事業	<p>新学習指導要領の実施に伴い、新たに必要となる教育振興備品等の購入を推進します。</p> <p>小学校における遊具については、老朽化した遊具を更新し、安全性の確保に努めます。</p>	<p>振興備品については、各学校に予算配分し、計画的に購入を行いました。また老朽化等により危険がある遊具は、速やかに修繕や撤去を行いました。</p> <p>管理備品については、修理可能なものはできる限り修理にて対応し、修理不可能のものや、優先度の高いものから、順次計画的な購入を行いました。</p> <p>引き続き、費用対効果の高い計画的な執行を行います。</p>	A
幼児教育推進事業	<p>臨時職員を幼稚園に配置し、体験活動や生活習慣等の支援を行います。</p> <p>君津特別支援学校やきみつ愛児園等と連携を深め、発達障害の早期発見や子育てに不安を抱える保護者の支援に努めます。</p>	<p>幼稚園教諭免許や保育士の資格を有する臨時職員2名を配置し、特別な支援が必要な園児等に、きめ細やかな指導を行いました。</p> <p>平成29年度末で運営終了のため、「ありがとう 周西幼稚園の会」を行いました。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
学校評価システム推進事業	<p>本事業のねらいは、現在実施している学校評価のあり方について検討し、市としての学校評価システムをつくることを目指します。</p> <p>具体的には、評価の形態、評価項目、分析方法、公表の仕方等について、実践事例をもとに検討、整備し、新たな評価システムの活用を推進します。</p>	<p>各校の評価内容・方法等についての実態を把握し、校長会議にて学校評価の重点を示すことができました。</p> <p>各学校において、年間3～4回の学校評議員会を開催し、学校運営について理解を図るとともに、意見をもらう場とすることができました。</p> <p>今後、「学校関係者評価」実施に向け、事務局での検討会議を開き、目的、取組方法、取組内容を検討し、評価の観点を明確にした学校関係者評価のあり方について検討していきます。</p>	B
学校教育ボランティア活用事業	<p>学校（園）が求める学校教育ボランティアの内容にそって、豊かな知識や経験を持つ地域の人材の活用を推進します。</p> <p>学校と家庭・地域が連携し、安全・安心な環境づくりを推進します。また、ボランティアを通して「地域の子どもは地域で育てる」一環として推進します。</p>	<p>数多くの方に「さわやかスクールボランティア」に登録いただき、登録人数807人、活動延べ日数3,331日、活動延べ人数13,424人となっています。</p> <p>地域の力を学校や園に反映させると共に、学校の姿を理解してもらう機会となりました。これからも、開かれた学校づくりの取組として、ボランティアの活用事例などを検証し、その効果や参画の在り方について情報提供できるように努めます。</p>	A
放課後子供教室事業	<p>運営委員会により、運営内容・教室実施回数等の見直し検討を行い、子どもの安全で健やかな居場所づくりを推進します。</p> <p>研修の実施等により、運営委員並びに関係者の学習支援等に取り組み、勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の充実に向けた取り組みを目指します。</p>	<p>県が主催する指導スタッフ研修会等、放課後子供教室関連の各種研修会などを活用して情報収集などに努めました。また、実験事業であった「やえっ子ひろば」を八重原小学校で放課後子供教室として開設し、参加者の増加、新規スタッフ・ボランティアの増員を図ることができました。プログラムの充実やスタッフの増員、スキルアップを図り、放課後子供教室の安定的な運営を目指します。</p>	A

取組事業	取組の方向性	成果及び今後の対応	評価
青少年健全育成支援事業	<p>全中学校区に設立された「青少年健全育成団体」の活動支援等を継続して行い、地域の活性化を図ることを目指します。</p> <p>子ども110番の家の協力者・協力企業との連携を図りつつ、学校や関係団体、自治会等との連携を密にし充実した運営を推進します。</p>	<p>子ども110番の家協力者の保険加入や、子ども110番の家プレート、シールの配布など、「子ども110番の家」の活動を積極的に支援しました（29年度末 1,375件）。</p> <p>今後も、マップ作成などを通じて、子ども110番の家の効果的な設置を進めます。また学校の統合などが行われる地区においても青少年健全育成団体の活動が円滑に発展するよう、適切に支援するとともに、青少年健全育成団体充実のため合同会議等を継続的にを行います。</p>	A
公民館施設管理運営事業	<p>社会教育の活動拠点としての機能を果たせるよう、施設機能の維持管理に努めます。</p> <p>耐震化、老朽化対策が必要な公民館については、全庁的なファシリティマネジメントの動向も視野に入れ、今後の整備について検討します。</p>	<p>各公民館の修繕などを進め、利用者が快適に利用でき、充実した活動ができるよう維持管理に務め、設備の突発的な破損や故障に対しても早急・適切な修繕を行いました。</p> <p>今後、公民館について教育の向上と公共施設マネジメントの総合的な視野で検討を行い、維持更新等に係る具体計画化、長寿命化計画の具体化などを進めます。</p>	A
武道推進事業	<p>本事業のねらいは、中学校での武道必修への対応及び青少年健全育成に資すること、そして本市における武道の活性化を目指します。</p> <p>武道実施のための貸出用備品の維持管理を行うことで、武道の活性化を推進します。</p>	<p>柔道用の畳、柔道着、剣道防具、竹刀、まわしを貸し出し、安全安心な武道指導を推進することができました。</p> <p>今後、引き続き武道用具の維持補修を続け、生徒が武道を行う環境を整えます。</p>	A

評価結果集計

区 分		S	A	B	C	その他	計	備 考
ビジョン 1	取組		1	2	1		4	
	事業		4	1		1	6	
	計		5	3	1	1	10	
ビジョン 2	取組	1		3			4	
	事業		9	1		1	11	
	計	1	9	4		1	15	
ビジョン 3	取組		2	1			3	
	事業	1	3	2			6	
	計	1	5	3			9	
ビジョン 4	取組		2	1			3	
	事業	2	4			1	7	
	計	2	6	1		1	10	
ビジョン 5	取組	1	2	1			4	
	事業	1	11	3			15	
	計	2	13	4			19	
計	取組	2	7	8	1		18	
	事業	4	31	7		3	45	
	計	6	38	15	1	3	63	

〔評価結果について〕

本市の教育振興基本計画に位置付けている、第二次きみつ教育 創・奏5か年プランの平成29年度評価（取組目標18、取組事業45）は上記のとおりです。

取組目標・取組事業のうちC評価となりました、ビジョン1の取組目標「児童生徒の長欠率の減少に努めます。」につきましては、月別長欠・不登校増加数の傾向として、小学校は年度後半から長欠となっている児童が多く、10月に増加数が多くなっており、行事との関係も考えられます。中学校は、年度はじめから長欠となっている生徒が多く、長期休業明けの増加が数年続いております。また、小学校は15日から29日の欠席である準長欠者が多く、中学校は100日以上長期にわたった欠席者数が多くなっております。長欠・不登校者は、家庭に起因する事案が少なくなく、家庭との連携をより強化していく必要があります。各校では、「不登校ゼロをめざすチャレンジ作戦」の取り組みを掲げ、確かな児童生徒理解により、それぞれの児童生徒にあった指導に組織として取り組み、解消に向けて努力しているところです。

全体として、18の取組目標及び45の取組事業において、前年度と比較し、S評価及びA評価が増加し、本プラン5年目の「完成期」を締めくくることができました。